



平成28年2月29日 開南幼稚園 NO. 8

日ごとに暖かくなり、頬をなでる風が柔らかく感じられる季節になってきました。外遊びが大好きな子どもたちは、お友だちを誘い合い、思う存分楽しんでます。

3月は入学や進級などに喜びを感じる反面、環境の変化に不安を感じ、気持ちも不安定になることもあります。生活習慣を整えて、ストレスに負けない体を作っていきましょう。

気をつけよう！ 耳の病気



3月3日は耳の日です。子どもは耳の構造上、中耳炎を起こしやすかったり、難聴を発見しにくかったりするため、耳の状態に注意が必要です。日頃から気をつけるようにしましょう。

急性中耳炎

【特徴】 のどや鼻についた細菌・ウイルスが中耳腔に入り、炎症を起こしたのが急性中耳炎。0～5歳頃の子どもの多く、抗生物質を飲んできちんと治療しないと、何度も繰り返すケースもある。

【症状】 突然高熱が出る。耳に痛みがあり機嫌が悪い。手を耳にもっていく、首を左右に振る、といったしぐさを見せることも。黄色い鼻水や耳垂れが出ることもある。

滲出性中耳炎

【特徴】 急性中耳炎の後遺症やアレルギーの炎症などのため、中耳腔に滲出液が溜まってしまうのが滲出性中耳炎。4～5歳の子どもの多く、鼓膜を切開して、たまった液を抜くといった治療が必要。

【症状】 痛みや熱は出ることが少ないが、耳に滲出液がたまって聞こえが悪くなるため、言葉を聞き返したり呼びかけに対する反応が鈍くなったり、耳鳴りがしたりする。

子どもの聞こえチェック

「聞こえてる？」と心配になったら、耳鼻科へ相談しましょう。



- 後方から名前を呼んでも振り向かず、反応がない。
- 話を何度も聞き返す。耳に手を当てたり、片方の耳を相手に向けて聞き取ろうとする。
- 音楽や声かけに合わせて体を動かさない。
- いつも鼻が詰まっていて、口で呼吸している。

